

様式第5号（第2条関係）

平成21年4月28日

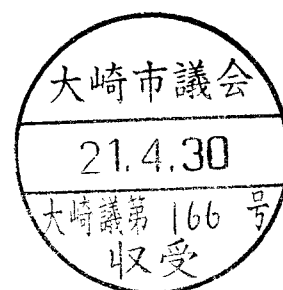
大崎市議会議長 青沼智雄 様

会派等名 グローバルネット
代表者名 氏家 善男



平成20年度政務調査費収支報告について

大崎市議会政務調査費の交付に関する条例第8条の規定に基づき、別紙のとおり政務調査費収支報告書を提出します。



(別紙)

平成20年度政務調査費収支報告書

会派等名 グローバルネット

1 収入

政務調査費 580,000 円(会派の異動により60,000円返還)

2 支出

科 目	金 額(円)	備 考
研 究 研 修 費		
調 査 旅 費	580,000	北海道札幌市, 北海道小樽市 北海道岩見沢市
資 料 作 成 費		
資 料 購 入 費		
広 報 費		
公 聴 費		
人 件 費		
事 務 所 費		
そ の 他 の 経 費		
合 計	580,000	

(注)備考欄には、主たる支出の内訳を記載する。

3 残額

0 円

政務調査活動概要報告書

会派等名 グローバルネット

1 調査研修事業

(1) 視察・研修日

平成20年7月8日(火)から平成20年7月10日(木)まで

(2) 視察・研修地

北海道札幌市、北海道小樽市、北海道岩見沢市

(3) 視察・研修者(7名)

青沼 智雄・氏家 善男・宮下 佳民・中村 一彦・中鉢 和二郎

大友 文司・木村 和彦

(4) 視察・研修内容

札幌市環境事業公社の運営等とごみ減量とリサイクルの取り組みについて

篠路資源化センター(札幌市ごみ資源化工場)を現地視察した。この施設では紙くず・木くず・廃プラスチック(塩ビを除く軟質プラスチック)等の資源化ごみを原料として、固形燃料、チップ等の製品に再生し、さらに、収集体制を集約しごみの分別収集やリサイクルに力を入れ、「ごみの適正処理・有効利用」を積極的に進めていた。一連の視察と札幌市関係職員による説明・情報交換を通して、情報収集と資料収集を行い、本市における広域行政事務組合の環境衛生事務・ごみ処理施設・処分場等のこれからの関連諸施策の参考に資した。

小樽市立病院建設計画について

小樽市立病院の建て替えにあたって、現在の病院の老朽化と狭さの解消・医師確保の問題・地域完結型の医療を目指している更には、小樽市立病院建設地選定にあたり現在地または現在地付近への建て替え運動の激化等々、様々な点において私たち大崎市立病院本院建て替え事業と関連していたので、視察研修してきた。一連の視察と小樽市関係職員による説明・情報交換を通して、情報収集と資料収集を行い、本市における大崎市立病院本院建て替え事業・岩出山分院建設事業のこれからの関連諸施策の参考に資した。

札幌市定山溪温泉街においての1)温泉街の活性化事業について、2)地域産業と観光の連携について

今では、札幌市の奥座敷と呼ばれている定山溪温泉街の歴史を通じた地域産業の発展を視察研修した。一連の視察と札幌市関係職員による説明・情報交換を通して、情報収集と資料収集を行い、本市における鳴子温泉とを比較対象すること

により、鳴子温泉の更なる賑わいの可能性を模索しこれからの関連諸施策の参考に資した。

岩見沢市における地域医療連携と病院経営について

病院を取り巻く環境が大変厳しい状況の中で、自治体病院として救急医療や小児医療、高度医療など、質の高い医療サービスを提供し、地域医療機関との連携を進め、地域の中核的施設としての病院機能を強化・向上させ、さらに、安全安心で良質な医療を安定かつ継続的に提供していくためにも経営の健全化が重要であることを視察研修した。一連の視察と岩見沢市関係職員による説明・情報交換を通して、情報収集と資料収集を行い、本市における大崎市立病院本院建て替え事業・岩出山分院建設事業のこれからの関連諸施策の参考に資した。

2 調査研修事業

(1) 視察・研修日

平成20年11月6日(木)から平成20年11月7日(金)まで

(2) 視察・研修地

神奈川県相模原市

(3) 視察・研修者(7名)

青沼 智雄・氏家 善男・宮下 佳民・中村 一彦・中鉢 和二郎
大友 文司・木村 和彦

(4) 視察・研修内容

セントラル自動車工場視察と幹部社員との懇談

セントラル自動車はトヨタの量産車種「カローラアクシオ」や輸出車の「ヤリス」等を生産しているトヨタグループのボディメーカーで、現在の生産台数は年間約12万台だが、2010年に本社と工場を宮城県黒川郡大衡村の「第2仙台北部中核工業団地」に移転し更なる飛躍を目指している。「おおさき産業革命の推進と一万人雇用機会の創出」を総合計画において重点プロジェクトとして掲げて、自動車関連産業などの企業誘致を促進している大崎市として、議員が初めて訪問し、直接工場のラインなどをつぶさに見ることができ、会社の副社長をはじめとする幹部社員との懇談も実現できたことは大変意義のあることであった。一連の視察とセントラル自動車社員による説明・情報交換を通して、情報収集と資料収集を行い、本市におけるこれからの関連諸施策の参考に資した。